

## 病気の一覧表

流行期	病名	主な症状	隔離方法	感染経路	潜伏期	登園停止期間
春～夏	風疹 【三日はしか】	38℃前後の熱とともに全身に発疹が出る。耳の後ろのリンパ腺が腫れる。	妊婦には 接触しないこと	飛沫感染	14～21日	主要症状が消えるまで
5月～8月	ヘルパンギーナ	発熱。咽頭などに口内炎。	自宅または病院	飛沫感染	2～5日	主要症状が消失後、2日まで
夏	百日咳	特有の激しい咳。風邪の症状。	自宅または病院	飛沫感染	7～14日	特有の咳が消失するまで
夏	急性灰白髄炎 【ポリオ】	体のマヒ・発熱・頭痛・吐き気。	隔離入院	飛沫感染	7～21日	急性期の主要症状が消失するまで
夏	咽頭結膜炎 【プール熱】	夏風邪の一種。発熱と咽頭炎結膜炎を起こす。結膜炎は伝染するので要注意。	自宅または病院	飛沫感染	5～7日	主要症状が消えるまで
夏	手足口病	口内粘膜疹・手・掌・足底に米粒大の水泡が発生し、破れてただれ、かさぶたを作る。	自宅または病院	飛沫感染	3～4日	主要症状が消えるまで
夏	日本脳炎	発熱・頭痛・意識混濁などの脳炎症状。	隔離入院	蚊の刺創	7～10日	伝染病予防法による
夏	伝染性膿痂疹 【とびひ】	全身いたるところにえんどう大の水泡が発生し、破れてただれ、かさぶたを作る。	自宅または病院	接触感染	10～14日	主要症状が消えるまで 飲み薬が処方された場合は、飲みきるまで
	溶連菌感染症	発熱・咽頭痛・細かい鮮やかな発疹がでる。	隔離入院	飛沫感染 接触感染	2～7日	伝染の恐れがないと確認できるまで
冬	インフルエンザ	発熱・くしゃみ・鼻づまり・咳・咽頭の腫れ・関節痛。	自宅または病院	飛沫感染	1～3日	発症した日を0日として、発症から5日、熱が下がってから3日経過するまで
冬	ジフテリア	咽頭・扁桃・腺維索性炎症。	隔離入院	飛沫感染	2～6日	伝染病予防法による
冬～春	麻疹(はしか)	発熱・食欲不振・結膜やのどのカタル症状。口腔内にケシ粒代の白斑ができ、3日後に全身に発疹。	自宅または病院	飛沫感染	9～12日	主要症状が消えてから3日を経過するまで
冬～春	流行性耳下腺炎 【おたふくかぜ】	発熱・耳たぶの下が腫れる。	自宅または病院	飛沫感染	14～21日	耳下腺の腫れが消失するまで
冬～春	水痘 【みずぼうそう】	発熱・顔・手足・胸に赤い粟粒、頭髪の中にも発疹、水泡となる。再発なし。	自宅または病院	飛沫感染	14～21日	発疹すべてがかさぶた化するまで
冬～春	伝染性紅班 【りんご病】	鼻を中心に鮮やかな紅班ができ、やや熱を感じる。肩や手足に発疹が出ることもある。	自宅または病院	飛沫感染	6～14日	主要症状が消えるまで
	川崎病	原因不明の熱が5日以上。手足がむくむ。全身に発疹。両眼の充血。唇、舌が赤くなる。頸部のリンパ節が腫れる。	自宅または病院	不明	不明	医師の診断に従う
11月～1月	ノロウイルス 急性胃腸炎	吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、(発熱は軽度)。貝類(生カキ等)を生あるいは十分加熱せずに食べた場合。二次感染に注意。	隔離措置	飛沫感染 接触感染	1～2日	完治するまで
	ロタウイルス	唾液や便などの排泄物から口に入り、激しい嘔吐・下痢が始まる。便が白い、白水便が何度も出る。	自宅または病院	経口感染 飛沫感染	1～3日	主要症状が消えるまで

\*カタル性肺炎:気管支肺炎の別称。

\*飛沫感染:呼吸器伝染病のもっとも一般的な感染様式。患者のくしゃみ、咳の際に吐き出された病原菌を吸入して伝染する。

\*気道:肺への呼気、吸気の通路。鼻腔、口腔、喉頭、気管、気管支などから成る。